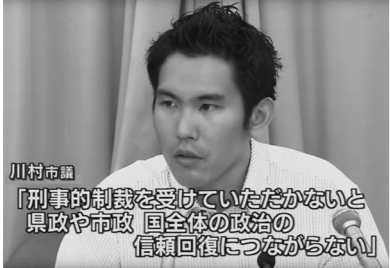


4年前の市議選で掲げた「赤字ハコモノの反対」と政務活動費など「議員特権の廃止」で財源を作り「福祉の充実」を、そして浦和の伝統「文教都市」の深化を目指して市議会で闘ってきました。南区で会派に所属しない無所属議員は私だけです。無所属だからこそ既存のしがらみにとられず、様々な議員活動を展開できました。

### 腐敗と不正の根絶を目指し クリーンな議会改革への挑戦

●自民党・沢田県議を刑事告発し、書類送検へ追い込む



川村準  
「刑事的制裁を受けていただかないと、県政や市政、国会の政治の信頼回復にならない」

2017年7月に発覚した沢田力・埼玉県議の政務活動費の不正受給。沢田氏は不正が発覚するとすぐ議員辞職しましたが、刑事的制裁から逃がすわけにはいきません。沢田氏を刑事告発し書類送検しました。

●議員と市長の報酬増を問題視

5年連続で市長と市議会議員の報酬を上げる議案を議会で審議しました。その額は市職員の給与増を含めると累計38億円で、市民の負担は増える一方です。私は当選した2015年以来、常に民間経済の動向が回復していない状況での議員や市長の報酬増に強く反対してきました。

●政務活動費の透明化に向け改革案を複数提出

2017年に政務活動費の領収書のインターネット公開を決定させました。その他にも、成果書のインターネット公開や政務活動費の後払い制度の変更など、さらなる政務活動費の透明化を提案しています。

●海外視察の質問実現で予算を半分に圧縮

議員が議会の代表としていく海外視察に関して、議会での質疑・討論の導入を実現しました。結果、厳しい質疑や討論の制度導入前の2011年から2015年の任期4年間は海外視察費が約1400万円だったのが、私が議員となった2015年から2019年の任期は約700万円以下になるなど厳格化に繋がりました。

●議員年金の復活を牽制

2011年に廃止された議員特権の一つである議員年金。しかし、2016年に自民、民進系（当時）、公明が議員年金の衣替えと考えられる「政府管掌年金」の創設を呼びかけてきました。私は、「偉い議員の先生」のための特別な年金制度「政府管掌年金」の不適當さを議会で追及しました。



川村 準 議員

●少数派議員の発言時間増加を実現

2015年の当選直後は、無所属議員の質疑時間は2分、討論時間は3分とわずかでした。皆様の署名の後押しもあり質疑時間は2倍の4分、討論時間も2・5倍以上の8分に拡大し市議会で議論を活発に出来ました。

●選挙公報をネットに常時公開を実現

選挙公報が、選挙の時だけインターネット上に公開され選挙後はネットから消されていました。これでは、選挙の時だけ耳ざわりのいい公約を掲げ、その後は公約を破る政治家が誕生する土壌になると考え選挙管理委員会を徹底追及。結果、2017年から選挙後もネット上に選挙公報が残り市民が常に政治家の公約を確認できる体制が整いました。

# 南区の市議として、浦和発展のために 議場は戦場！いつでも全力で勝負だ

## 無所属議員 川村 準 4年の情熱と実績

- 市長や議長の公用車ルール策定を  
2016年に舐滅要一・東京都知事（当時）は、公用車で湯河原へ行ったことなどが問題視され辞職しました。さいたま市でも市長や議長の公用車ルール厳格化を求めました。
- 市議会だよりやホームページで採決賛否を掲載し透明化を提案
- 議会会議録、即時の公開を要望

### 無所属議員の利点 「おかしいことにはおかしいと」徹底追及

●大宮への市庁舎移転案の非効率性を議会で堂々開陳



昨年5月、浦和の市庁舎を大宮・新都心エリアに移転が望ましいとする本庁舎整備審議会の答申が市長に提出されました。しかし、市庁舎の移転は、浦和の伝統である「行政の中心」そして文教都市を骨抜きにするものです。また、浦和の市庁舎は現在、約50億円かけて耐震補強工事を行っています。移転した場合、工事費用が無駄になる上に数百億円レベルの税金が新庁舎建設に投じられ市民の税金が無駄になります。

●妊婦加算の凍結に向け、市議会・県議会で行動  
妊婦の診療にはきめ細かさが求められるとし、昨年4月に妊婦加算が導入されました。しかし、加算の負担先が妊婦はおかしいと、私は市議会と県議会にて請願で行動。県議会では全会一致で趣旨採択され結果、昨年12月に妊婦加算は事実上、廃止になりました。

- 地下鉄7号線の延伸が市の財政に与える悪影響を指摘し、目標年次を撤廃させる
- 国民健康保険の値上げに異議アリ！
- オスプレイの関東での運用に警鐘を鳴らす
- さいたま市の上空に航空機が！休日に羽田増便の説明会開催を実現
- 生活保護の不正受給取締の厳正化を要望
- 監査委員の天下りシステムを議会で暴露
- 市役所の主要ポストに国家公務員が就くことの弊害を指摘
- 業務の効率化のため、市職員のペーパードライバを減らすことを要求

### 「文教都市浦和」の発展を目指し

- 自動車の「浦和ナンバー」創設を初めて要望  
埼玉県内の主要エリアは「浦和」以外は全て自動車ナンバーを持っています。浦和エリアの愛着向上や文教都市浦和のブランド化のためにも「浦和ナンバー」の創設をさいたま市議会で浦和の議員で初めて訴えました。
- 学生の自習場所が少ない問題を取り上げ、教育委員会に調査を約束  
図書館での自習を希望する学生が、スペースが足りなくて困っている声を市議会で取り上げ、図書館での自習需要がどのくらいか教育委員会が調査

を行うことになりました。

- 図書館の休日の開館時間の延長を提案  
現在、南浦和図書館と武蔵浦和図書館は休日が夜6時までしか開館していません。他市とのデータも比較して夜間も図書館を開館することを提案し、調査・検討を行うことになりました。
- 図書館の「民営化」、問題点を指摘  
図書館の運用を民間に任せることで、実質的な「民営化」を市は新しい大宮図書館で導入しようとしてきました。しかし、図書館の「民営化」は佐賀県東雄市を始め、蔵書の選定が杜撰になるなど問題が多発していることを提起しました。
- 鉄道駅の返却ポスト増設を提言  
現在、東浦和駅、宮原駅、西浦和駅に設置されている図書館の返却ポスト。南区の駅にも返却ポスト設置を要望しました。
- さいたま市の給付型・奨学金制度の充実を
- 鉄道駅のホームドアの早期設置を南浦和駅で実現
- 市立病院の差額ベッドの割合増に警鐘を鳴らす、誰も安心して医療を受けられる環境の実現を
- 最新技術をみんなで学習！EV教室の開催校を現状の5%から大幅増を要求
- 浦和ブランド化「レッズ」の町名地区を提案
- 郷土愛形成！小学校において浦和の偉人を学ぶ場を
- 不公平！浦和でも市の自転車レンタル制度の開催を呼びかけ
- 交通渋滞の解消へ！選択と集中で幹線道路完成のスピードアップを要望
- 文教都市を守る！市発行パンフにあった毀損表記に嚴重注意
- アスベスト啓発のシンポジウム開催を提案

### 住み続けたい街“南区”を目指し

- 明花駅の早期創設を提案  
南浦和駅と東浦和駅の間に新駅をつくる構想「明花駅」。大宮エリアには2009年に西大宮駅が出来るとも、浦和エリアには近年は新駅が出来ていない不公平さを指摘。
- 武蔵浦和駅で分煙政策の徹底を要望  
昨年12月に南浦和駅西口の喫煙場所にタバコの煙を分散しないようになっているパーティションが設置されました。同じように、武蔵浦和駅の東西口にパーティションの設置を東京五輪までに実現することを市へ求めました。
- 内容中や沼影小のマンモス校問題を徹底追及  
内容中学校や沼影小学校の生徒数が多いマンモス校状態が30年以上前から続いている状況を議会で徹底追及。
- 南浦和駅のエレベーター開始の広報体制を向上  
2016年3月から南浦和駅西口に、2017年3月から南浦和駅東口にエレベーターが設置されたもの

の、いつから利用開始されるか市民に知らせる周知体制がしっかりなされていませんでした。周知のため、使用開始時期のポスターを駅前貼ることを求め実現しました。



●道路や信号の草刈りを行い安全な街づくり推進

草で埋もれた通学路や、木の枝が邪魔で見えない信号などを、南区役所と連携し安心・安全な通学路や信号に改善しました。



- 人口集中地区・武蔵浦和エリアの避難場所の設置を要望
- 南浦和公民館跡地、市民参加の仕組みを勝ち取る

### パパ、ママ、子どもの笑顔を目指し保育園などの改革提案

- 私立保育園の全園監査を実現  
さいたま市は、残念ながら待機児童が残っているものの保育園の数や受け入れ人数など「保育の量」は増加しています。一方、市が毎年、私立・認可保育園を实地監査していない「保育の質」が問題状態にあることを知った私は、安心安全な環境を目指して議会で全園監査を提案、2018年度から実現しました。
- 公立保育園の監査が10年放置の現状を暴露  
さいたま市の公立・認可保育園の实地監査が10年行われていない問題を指摘し、市議会で解決策を提案しました。
- 保育園・幼稚園の専門の監査部門の創設  
さいたま市以外の19政令市は、保育関係専門の監査部門を持っています。さいたま市も「保育の質」向上のため、保育専門の監査部局の創設を提案しました。
- 保育園のオムツ持ち帰りを解消へ  
公立保育園では、保護者が使用済みのオムツを持ち帰るのがルールです。しかし、衛生面や保護者の負担軽減の観点から改善が必要と考え議員として初めて市に提案し、2020年度からの実施へ向け、大きく前進させました。
- 保育園のシーツ持ち帰りも制度改善を要望  
公立保育園では、赤ちゃんのシーツも毎週末持ち返ることになっており、保育園内でシーツを洗濯する制度変更を求めました。
- 公立保育園の土曜時間の延長を  
公立・認可保育園の土曜の開館時間は、7時半から14時半までと非常に短くなっています。10年前からの問題が指摘されているものの、改善に動いていない事実を暴露し素早い改善を求めました。
- 所得に応じた保育料を  
認可保育園は所得に応じ、保育料が11区分に設定されています。しかし、640～930万円に該当す

る所得層は、300万円もの所得差があるにもかかわらず、同じ保育料になっています。細かく所得区分を設定することで、保育料が引き下げとなる保護者が増えるよう改善を求めました。

- 養育費の受け取り向上策を提案  
一人親が増えています。養育費を受け取れている方はわずしかいません。子どもの健全な育成のためにも行政が様々なアドバイスをを行うよう具体案を市に示しました。
- 楽しみながら身を守る。防災カードゲームを幼稚園へ提供を
- 縦割り行政にメス！ヒヤリハット・マップの規格を統一し、より良い地図へ

### お役所のムダ遣いを容赦なく追及

- 市職員と民間給与の較差は300万円を暴露  
さいたま市職員の給与は、5年連続で増えています。しかし、市職員の平均給与は概算で約710万円（2017年度・行政職）。一方、民間の平均給与は約430万円（2017年）と300万円もの給与較差があります。市職員は公務員で基本的にクビにもされず身分が安定していることから給与を300万円下げ民間較差を解消するとともに、その較差を解消して約160億円（概算）の財源で、市民のために税金を使うことを提言しています。
- 市長の趣味「クリテリウム」の予算は文教都市浦和のために  
新都心で毎年秋に行われている自転車レース「クリテリウム」。約2億7千万円もの税金を投じているものの、来場者数は2014年以降横ばいが続いており市の活性化や市民の福祉向上に役立っていません。

●トリエンナーレの問題点を指摘  
これまた市長の趣味的に開始された芸術祭「トリエンナーレ」。担当職員の人件費含め累計で約10億円もの税金を投じて開催したものの、その内容は日本全国の自治体で芸術祭を行うのが流行っているから開催するという二番煎じであり真っ向から反対しました。



●盆栽美術館の運営体制の問題を指摘  
開館前は黒字を想定したものの、2010年春の開館から毎年およそ1億5千万円もの赤字を垂れ流している大宮盆栽美術館。せめて、ふるさと納税の返礼品に「盆栽」があることを来館者に告知すべき、と赤字の圧縮のための政策を提言しました。



- 岩槻につくる人形博物館やにぎわい交流館の赤字体質を指摘し、盆栽美術館の二の舞になることへの警鐘を鳴らす

### 川村 準 プロフィール

1987（昭和62）年11月生まれ31歳。旧・浦和市で幼少から育ち浦和東部の大牧小学校、尾間木中学校卒。都内の順天高校を卒業後、米国はオクラホマ州のノースイースタン州立大学を2011年に卒業後、都内の業界新聞で記者として働く。社会人生活の傍ら、学生時代から関心のあった政治に関して、さいたま市政を調べ様々な問題を発見する。また、そういった問題に関して、しっかり浦和で追及する議員がいないことに関して疑問を感じ始める。それならば自分が、そういった議員になるとの決意で2015年の市議選に出馬し当選。当選後は、議会の定例会ごとに、記者出身のジャーナリスト視点を活かし市政レポートを市民の皆様に配布。尊敬する政治家は、93歳で現役の政治家であるマレーシアのマハティール首相。趣味は読書と音楽鑑賞。好きな作家は司馬遼太郎、山本七平、小室直樹など。好きなミュージシャンはブルーハーツ、エルレガーデン、mol-74など。

### 政務活動費使用せずも 発言回数はダントツ

政務活動費は、議員報酬とは別に、政務・議員活動に用いることの出来る議員の「第二の報酬」です。2014年の野々村竜太郎・元兵庫県議の「号泣会見」をはじめ、富山市議会での大量の政務活動費の不正、2017年の沢田力・元埼玉県議の不正受給など政務活動費は「不正の温床」となってきました。それでは、政務活動費は不正の温床だけど、なくてはならない「必要悪」なのでしょう。しかし、さいたま市議会議員の年間報酬は約1354万円です。この年間報酬を皆様からの貴重な税金でいただけるのであれば、政務活動費は不要！ということで、私は年間報酬のみで議員活動を行い、これまで4年間議会ごとにレポートを配布してきました。また、議会での発言回数も政務活動費を受給0円の私が南区でトップの17回発言してきました（2017年度）。加えて、政務活動費を受け取ってないからこそ4年間、政務活動費の改革案を中立公平な市民視点で提案できました。

### 政務活動費使用額と発言回数

(2017年度)				
南区の議員	会派	政務活動費使用額	発言回数	
野口吉明	自 民	398万1444円	1回	
浜口健司	立憲国民	396万8515円	3回	
富田かおり	立憲国民	389万7874円	2回	
守谷千津子	共 産	385万4157円	4回	
萩原章弘	自 民	374万2664円	1回	
松下壮一	公 明	367万4547円	2回	
桶本大輔	自 民	360万4316円	1回	
土井裕之	立憲国民	351万3864円	4回	
川村 準	無所属	0円	17回	

※金額は会派支給分の人数割りと個人支給分の合計  
※発言は本会議での討論、質問、質疑、動議、議事進行の合計